



大阪の旧三島郡（現高槻市や茨木市）の北摂山地や丘陵部に広がる500基を超える古墳や遺跡が三島古墳群と呼ばれています。堺の大仙古墳（仁徳天皇陵）がある百舌鳥古墳群と並ぶ古墳地帯です。今回はこの中から2基の古墳へ行ってきました。どちらもオーハーツーリズムとはまだまだ無縁のところでした。まずは太田茶臼山古墳です。京都から淀川右岸の大山崎や高槻を通過して、山陽道と続き、九州までのびる「西国街道」（江戸時代の参勤交代にも使われたとのこと）沿いにあり、宮内庁により「^{みしまのあいののみさきぎ}三嶋藍野陵」「継体天皇陵」と治定されています。全国で21位の規模の古墳で、環濠に囲まれた前方後円墳、前方部幅147m・後円部直径138m、墳丘長226m、高さ19.8m、5世紀中頃（古墳時代中期）に築造されたもので円筒埴輪や形象埴輪が出土しているそうです。軸心は北から30°程西に振られていて、西国街道から100m程の砂利敷参道を歩くと、上の写真の通り濠越しの前方部中心を望むことができます。墳丘は緑の樹木に覆われて、濠の周辺には住宅地も広がっていますが他に訪問者がなかったこともあり、水面も含めて一帯に「静寂」を感じました。



太田茶臼山古墳 前方部の南東隅

もうひとつは今城塚古墳（国指定史跡）で、こちらも「継体天皇陵」との説もあるそうです。2重の環濠を持つ前方後円墳で、墳丘部の緑の中にも遊歩道が設けられていて立入ることができます。すぐ近くの今城塚古代歴史館と合わせて今城塚古墳公園「いましろ大王の杜」という市民公園になっています。6世紀前半（古墳時代後期）に築造されたもので、淀川流域最大の墳墓、総長約350m・総幅約340m、日本最大の家形埴輪や精緻な武人埴輪が発見されているとのこと。

軸心は東から 20°程南に振られています。内濠の一部（前方部の 3 方）のみに水面が残されていて、2 重濠の間の内堤の 1 周が約 1km あり、水の無い外濠とともに、ランニングやウォーキング、子供の遊び場や犬の散歩（墳丘内は禁止）にも利用されているようです。その内堤の一部に埴輪祭祀場が再現されていて、人物、動物や家などの形象埴輪が多数並んでいます。内堤に掘られたトンネル内に内堤土層断面の展示と説明、その他各地にいろいろな説明（絵もあり漢字に読み仮名も）が掲示されていて、小学生でも興味を持つ切っ掛けになるかなと思いました。



手前の草地は内濠の底、左上が内堤



内堤上の円筒埴輪



前方部と後円部の中間の造り出し部



内堤上の埴輪祭祀場



今城塚古代歴史館は、古墳から 200m程北にあります。勾玉づくりや埴輪づくり教室も開催されているようです。常設の展示では、三島古墳群の概要をはじめ今城塚古墳からの出土品や、発掘調査で判明した古墳づくりの工夫をジオラマ模型や映像も用いて解説されています。多少でも「古墳」やその時代に興味のある方であれば、立寄ってみる価値はあると思いました。入場無料、写真撮影可（ストロボは禁止）でした。冷房が効いた室内で涼むこともできました。



2つの古墳にはJR 摂津^{とんだ}富田駅から行きましたが「グリーンフラッグ」というレンタサイクルを利用しました。駅前放置自転車を無くす目的から始まった自転車シェアシステムとのことで、身分証明をして登録作業がりましたが、1年間有効のカードがもらえて、その後は1日150円、月極1,500円でレンタサイクルが可能になります。電動アシストでもなく、また変速ギアも付いていませんが、行動範囲は徒歩の場合よりはるかに大きくできます。真夏日でしたが、ネッククールリングで首を冷やし、持参した自転車用ヘルメットも日除け帽子の機能のみでなく適度に風も通って、なかなか快適でした（以前にバイクツーリングのフルフェイスヘルメットで熱射病的な経験もあり）。ネッククールリングは28℃以下で固まるので、途中飲み物補充に入ったスーパーや、今城塚古代歴史館、昼食のレストランでも冷たさを補充できました。

この後、JR山崎駅まで電車で移動して、周辺を散策しました。大山崎町のホームページに、天王山山頂（山崎城跡）までいろいろな観光スポットやお勧めのコースも示されています。駅のすぐ南に離宮八幡宮があります。859年に大分の宇佐八幡宮から八幡神を分祀したことが始まりで、平安時代に神官が搾油機を考案して荏胡麻油生産が活発になり油座の本所となり大山崎を繁栄させたとのことで、製油発祥の神社、油の神様といわれています。「油断大敵」のお守りもあるとのことです。同じく駅のすぐ近くに豊興山妙喜庵もあります。国宝の茶室（広さ2畳）があり、最小の国宝建造物とのことです。天王山一帯に城を築いた秀吉が千利休を呼び寄せて住ませた利休屋敷に設けられた茶室（待庵）が当庵に伝わったとのことです。見学には1か月前までの往復葉書での予約申込が必要とのことで、「拝観謝絶」や「拝観予約のない方は大山崎町歴史資料館へ」との掲示がありました。歴史資料館へ原寸大模型が展示されているとのこと。この掲示は、10数年前に来た時も見た記憶がありますので、最近のオーバーツーリズム問題ではなさそうです。重文の書院もあるようです。



駅の北側の山へ少し登ると聴竹居（2017年国の重要文化財に指定）があります。建築家藤井厚二氏が5回目の自邸として1928年に建てた住宅で、クールチューブを設ける等、環境共生住宅の先駆けといわれています。



こちらも見学は水・日のみかつ予約者のみとのこと。土曜日でしたので、道路からでも少しは建物が見えるかなと期待して行きましたが、木々が繁茂している今の時期は全くだめでした。途中の道に「まむしに注意」の看板もありました。

当初はさらに幾つか回るつもりでいましたが、ネッククールリングの蓄冷もなくなりとにかく暑いのと「新幹線停電運休中」の情報を得て、何とか帰宅の手段確保をと思い予定を端折って帰路に付きました。昔はどこに行っても予定消化（途中に温泉立寄り等も）に懸命になっていましたが、無理に消化することなく残すことも「また次に来る機会を設けられる」と考えるようになりました。もう少し涼しい時期に、天王山までのコースを歩いてみたいと思います。（写真撮影2024.07.06）

< Google マップ参照 >

URLは、下の「PDFはこちら」に入り、アンダーラインをクリックしてください。

太田茶臼山古墳

<https://www.google.co.jp/maps/@34.844786,135.5779429,15.73z>

今城塚古墳

<https://www.google.co.jp/maps/@34.8499603,135.5944632,16.23z>

今城塚古代歴史館

<https://www.google.co.jp/maps/@34.852408,135.5959114,20.25z>

離宮八幡宮

<https://www.google.co.jp/maps/@34.8916759,135.6795787,20z>

豊興山妙喜庵

<https://www.google.co.jp/maps/@34.8922301,135.6803313,21z>

聴竹居

<https://www.google.co.jp/maps/@34.8935671,135.6799605,20.5z>